

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 茨城県立並木中等教育学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒305-0045
茨城県つくば市並木4-5-1

E-mail : info@namiki-cs.ed.jp

Website : http://www.namiki-cs.ed.jp

児童生徒数：男子 429名 女子 436名 合計 865名
 児童・生徒の年齢 12歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

- (1) 1年間の主な活動内容について記載願います。
 ※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

① サイエンスダイアログの実施【4・5年次生】

5月15日（水）に日本学術振興会や近隣の研究所に勤務する研究者の方7名を招き、それぞれの出身国の紹介と専門分野についての講演・質疑応答を行った。中等4年・5年次生（高1・2相当）約280名の生徒を7クラスに分け、フランス、フィリピン、韓国、ケニア、アメリカ、ロシア等出身の研究員の方々には母国の話だけではなく、高校生時代の話や研究員になったきっかけなどを話していただきながら、生徒は質疑をしていき、「ダイアログ」形式になった。

② 文化祭 日本国文化紹介【3年次生】

6月7日（金）・8日（土）の文化祭において、3年次生が3つの部屋に分かれて、「日本文化の部屋」、「科学の部屋」、「様々な国の風俗習慣・言語の違いについての部屋」を設け、来校者に対してプレゼンテーションと体験活動を行った。その中で、「日本文化の部屋」では11月修学旅行（京都・広島）に向けた伝統文化の紹介を来場者にプレゼンテーション方式と体験（割り箸鉄砲作り・内輪作り・浴衣体験・百人一首等）を実施した。

③ 英語インタラクティブフォーラム【2・3年次生】

2・3年生全クラスで5月から7月にかけて、身の周りの出来事（2年次生）から、社会的問題〔携帯電話の是非等〕（3年次生）について、英語の授業において話す訓練を行う。尚、成績優秀者（各年次2名）は7月には市大会、地区大会、8月の県大会に出場する。3年次生については、その活動において優れた生徒を選出し、英語弁論大会出場や、AFS・ロータリークラブなどの留学機関に送っている。（今年度高円宮杯中央大会出場、留学者予定者数5名）

④ JICA研修員との交流事業【5年次生】

7月5日（金）にJICA研修員の方を10名招き、トピック別の日本文化紹介と、研修員の方々とのディスカッションを行った。中等5年次生3クラス（合計114名）をクラス毎に同様のプログラムを3時間連続で実施する形となった。ブータン、エチオピア、ガーナ、マダガスカル、ルワンダ等の出身の研修員の方々と、生徒がプレゼンテーションをした後に、それぞれのトピックについてディスカッションをした。

⑤ 修学旅行【3年次生】【5年次生】

11月24日から3日間、3年次生が広島・京都方面に修学旅行をし、被爆体験者からの講話を受け、平和の尊さを再認識した。原爆の子の像前では、「平和への誓い」のセレモニーを実施し、生徒代表が宣誓した。帰校後は、総合的な学習の時間で学習した内容を発表し、英語の時間には3日間で最も印象に残った場所や出来事について、B4版一人一枚新聞を作成し、発表会を実施した。尚、英語科では英語副読本「きみはヒロシマを見たか」（三友社）を読んでいる。

⑥ 国内語学研修【2年次生】

3月4日（火）より2泊3日でブリティッシュヒルズにて国内語学研修を

実施した。終日英語だけの生活を過ごすことで、これまで学習してきた英語の大切さを実感し、今後の英語学習の動機付けをさらに高めた。ここでの体験をもとに、3年次においても英語の授業において「インタラクティブフォーラム」という身の周りの出来事について生徒同士で英語で話す活動につなげていくことになる。

⑦ 駐日外交団茨城県視察ツアー 学校訪問受け入れ【5年次生】

3月7日（金）に駐日大使等23名を招き、トピック別の高校生の日常の紹介と、外交団の方々とのディスカッションをおこなった。5年次生24名が17カ国から来られている外交団の方々と普段の学校生活の話を通して、グローバル化が進む中、人間力を高め、夢に向かって進路実現を図る上で勉強になる一日であったと感じていた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（)